老朽原発うごかすな！ニュース

第１１３号

発行・老朽原発うごかすな！実行委員会

［連絡先］
090-1965-7102

７０名が参加した福井の皆さんからの歌声

１２・３集会に参加して
北から南、各地からの発言が胸に迫る

「とめよう！原発依存社会への暴走」と全国から集まった１６００人の力に原発立地の福井県から参加した７０名の参加者は元気をもらいました。やはり今回の中心は、老朽原発３基を抱える福井県の住民の「老朽原発ＮＯ」の声が、しっかりエネルギー消費地である関西の地にひびくこと。これが重要であるとの認識から、今年開かれた関電前集会でのスピーチで「関電の老朽原発を抱える立地県の福井からバスを仕立てて１００名の参加者を目標に取り組みます！」と宣言してしまいました。

オール福井の会議で話し合い、福井から、敦賀から、小浜からバスを出して参加者を広げていくことを確認しました。当日は３台のバスに６５名と自家用車、ＪＲでの参加５名の総勢７０名で参加できました。目標には届きませんでしたが、近年大阪の集会では、最高の参加者数でした。

前段のうたごえ企画に、福井からのバスの車中で２度練習し、急遽お願いした大阪のうたごえの演奏者２名と直前に練習して臨んだ本番では、「老朽原発動かすな！」と「停まった」の２曲を４０名の参加者がステージ周辺で歌いました。とても感動的でした。

イチョウ並木の御堂筋を行く第１グループのデモ

中嶌哲演さんの後ろに筆者が

当日の司会を仰せつかって、集会が始まってからは、時間との闘いでしたが、実行委員のみなさんが、しっかりサポートしてくださり、無事終えることができました。北から南までの各地からの発言も胸にせまりました。１０分の制限時間の中で大島堅一先生もわかりやすく「国民にとって高い原発の電気代」のからくりを説明されました。

御堂筋デモ行進も、これまでより短く感じられたのは、隣に歩いている中嶌哲演さんの圧倒的な迫力のせいでしょうか？集会の１０日前に行った福井県知事への緊急申し入れ行動で、担当課の前廊下でしか申し入れ文書を渡せなかった怒りのせいでしょうか？ともかく、大阪集会で終わりではなく、新たに大きな「老朽原発動かすな」の運動を構築する始まりの集会になったことだけは確かです。

実行委員のみなさんの多大なご苦労に心より感謝します。みなさん本当にありがとうございました。

（オール福井反原発連絡会　林　広員）

１２・３集会に参加して
原発や戦争は、みんなが損する問題

私は税理士・特定社会保険労務士であり、土日も含めて毎日銭勘定をしています。若いころは天下国家を論じていました。今は地域に根を張って、目の前にいる１人の自営業者の経営、家計をよくするために具体的にどうすればいいか、ということに没頭しています。

反原発デモで『お金よりいのち』『お金よりくらし』と

言います。私はお金のこと（自分の経営、顧客の経営）が第１で、スキマ時間に平和や原発のことに取り組んでいます。

税制、社会保険の問題の本質は、極論すれば誰かが損をして誰かが得をする問題です。しかし、原発や戦争は【原発をつくれば（少なくとも）自分はもうかる】と思っている人も含めて、みんなが損する問題です。

３０年前日本の太陽光発電装置の生産は世界１で、当時のアメリカのビル・クリントン大統領が『かつて太陽光はアメリカが世界１だったのに、今や日本に圧倒されてしまった。』と嘆くほどでした。２０年前、日本の風力発電装置の生産は世界１でした。今、太陽光発電装置も風力発電装置も中国が世界１です。中国は太陽光発電装置や風力発電装置を輸出産業にするために数兆円を支出したのです。日本はその間、多い年は科学技術予算の半分を原発関連に使いました。それだけのお金を自然エネルギーに使えば、太陽光発電装置や風力発電装置は今でも日本の輸出産業であったでしょうし、多少は円安も緩和したでしょう。

金儲けを考える役所であるはずの経済産業省が、結局は金儲けとしても大失敗したのです。

お金のことだけを考えていると見えないことがいっぱいあります。お金のことを毎日考えているから見えることもあるのです。

仕事に追われてデモにひんぱんに行けません。だから、『デモに行く回数は半分（以下）でも２倍目立てば効果は同じ』という屁理屈で伊賀の忍者服でデモに参加しました。

（老朽原発４０年廃炉訴訟　市民の会　原告（名古屋）　鷹巣　辰也）

ポテッカーを掲げる（広すぎて全体が写らない！）

１２・３集会に参加して
次世代への責任は、私たちがとらなければ

今年は最悪の年でした。昨年岸田政権は原発回帰を打ち出し、それを待っていたかのようにつぎつぎと老朽原発が再稼働し、放射能汚染水海洋放出が始まり、核廃棄物処理場・中間貯蔵施設などの候補地がつぎつぎ挙げられ、調査が始まり、年末にはＣＯＰ２８で原発容量３倍にするという提案が出され、日本がそれに賛同し・・・などとんでもないことが起こり続けました。原発の危険性、放射能の怖さを理解しない、理解しようとしない、たぶん経済性しか考えていない人々のせいで、未来へのツケをどんどん増やしていく。情けない気分でいます。そんな気持ちを表現するのは集会やデモに以外にない・・と参加しました。集会では全国から元気のいい発言が相次ぎ心強く、もっと自分もやらなければと思いました。

デモは御堂筋を南進。しばらくは休日でオフィスが閉まっているせいか人影もまばらで、むなしくコールを続けていたのですが、心斎橋ぐらいまで至ると休日を楽しむ家族連れや若者たちのグループが増えてきました。少しは私たちの訴えが届いたでしょうか。１１月２３日の阪神優勝パレードには３５万人集まったとか。せめてその１０分の１でも集まってほしいものです。参加者の中に「反戦タイガース」の装いの父子とみられるお２人が目立っていましたけど、阪神タイガースを応援するなら「反戦タイガース」ですよね。若狭の原発で事故が起きたら、戦争にまきこまれたら、阪神タイガースどころではないのですから。

当日参加は１６００人だったそうですが、せめてあと１桁参加者を増やしたいものです。後期高齢者の仲間入りをした私は、集会やデモに行くのが老後の正しい過ごし方と、ことあるたびに言っています。なによりも次世代への責任は私たちがとらなければならないと思うのです。老骨に鞭打ってこれからも参加し続けようと決意を新たにしました。体はちょっとよれよれですけどね。

（使い捨て時代を考える会　山田晴美）

うつぼ公園から出る第３、４グループ